

令和元年10月台風19号 東北地方整備局TEC-FORCE活動状況

応急対策班(排水) 活動記録(10月14日)



排水作業状況(宮城県丸森町)



排水作業状況(宮城県丸森町)

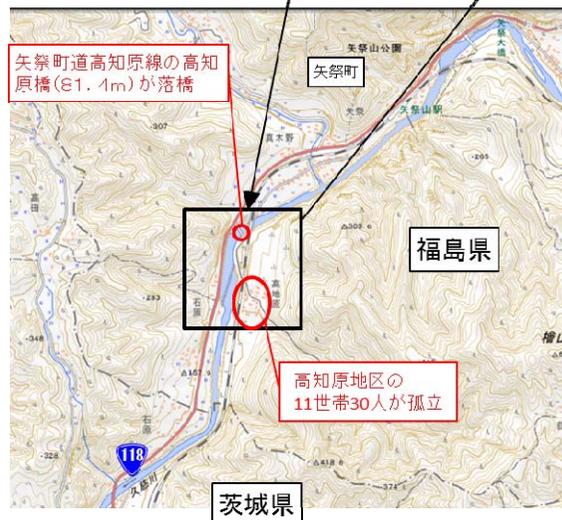


排水作業状況(宮城県丸森町)



排水作業状況(宮城県丸森町)

- 福島県矢祭町長より「橋梁が流出し、ライフライン(水道)が途絶している。復旧を最速で行う手立てについて、アドバイスをいただきたい。」(孤立集落 11世帯 30人)
- 整備局職員(リエゾン兼テックフォース)を派遣 ※道路部2名(道路工事課補佐、道路構造保全官)、橋建協2名
- 13日(1日目)役場での打ち合わせ、現地調査を実施。
→下部工(橋脚2基)の流出や、橋台(上部工についても流出)



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。(承認番号 令1東複、第24号)



▲現場状況(橋脚・上部工が流出)

▲現地調査(町長同行)

- 14日(2日目)昨日に引き続き、仮復旧に関する現地調査を実施。
- 河川に関する施工条件、仮橋等の応急復旧に関する技術的なアドバイスを町に伝達。



▲現地調査(14日)



▲現場状況(橋脚・上部工が流出)

■テックフォースコメント

- ・仮復旧に際し、河川管理者(県)に施工条件等を確認すると、現状の橋脚配置、阻害率であれば、仮橋設置については問題ないとのこと。
- ・現地状況を確認し、仮橋や応急橋等に対する場合、概ね3ヶ月程度の期間を要すると考えられる。
- ・水位が低下したら川底の確認を実施した方が良い。

■矢祭町(高橋事業課長)

- ・技術的な助言を頂き、方針が見えてきた。
- ・孤立集落の早期解消に向け、復旧を進めたい。今後も困った時は相談させてほしい。ありがとうございました。